



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社リニカル 上場取引所 東
 コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 (TEL) 06-6150-2582
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	642	△6.8	76	△63.9	75	△63.9	43	△64.6
22年3月期第1四半期	689	—	210	—	210	—	123	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	3	54	—	—
22年3月期第1四半期	10	01	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	1,371	960	960	70.0	77	78		
22年3月期	1,406	1,053	1,053	74.9	85	36		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 960百万円 22年3月期 1,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—		0	00	—		11	00	11	00
23年3月期	—									
23年3月期(予想)			0	00	—		11	00	11	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	1,244	0.4	211	△42.0	210	△42.1	100	△52.8	8	11
通期	2,885	20.0	588	19.2	582	19.5	343	19.7	27	84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無
② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	23年3月期1Q	12,370,000株	22年3月期	12,370,000株
② 期末自己株式数	23年3月期1Q	25,000株	22年3月期	25,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	23年3月期1Q	12,345,000株	22年3月期1Q	12,345,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、中国やインドなど、アジア地域を中心とした海外経済の回復や、政府の景気対策などにより一部に景気回復の兆しが見られたものの、設備投資の抑制や雇用情勢の不安から、個人消費は低迷を続けております。海外における金融市場の変動などのリスクにより、本格的な景気回復には至っていないとは言えず、依然として厳しい状況が続いています。

一方、医薬品業界におきましても、激しい国際競争の中で経営統合や合併等の再編が続いております。さらに、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進等、薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題および世界的な新薬の承認審査の厳格化等により、ますます医薬品開発の競争は激化しております。

このような流れの中で、当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO）業界は、医薬品開発のアウトソーシング化を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。しかし、その一方で、既存企業の規模拡大、事業譲渡、廃業などにより業界内の競争は激化しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業については、営業活動を強力に推進し複数の新規案件を受託いたしましたでしたが、当第1四半期連結累計期間の収益に対する貢献度は低く、大型案件の開発中止に伴う受託契約の終了による収益の低下を補完することができませんでした。一方、前期より開始いたしました製薬会社に対する医療機関向け医薬品販売支援（CSO）事業については、少額ながら収益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は642百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業利益は76百万円（前年同四半期比63.9%減）、経常利益は75百万円（前年同四半期比63.9%減）、四半期純利益は43百万円（前年同四半期比64.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ35百万円減少し、1,371百万円（2.5%減）となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ58百万円増加し、411百万円（16.5%増）となりました。これは、主に短期借入金の増加及び未払法人税等の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ93百万円減少し、960百万円（8.9%減）となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より60百万円減少し、570百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は48百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益75百万円の計上があったものの、売上債権の増加額15百万円及び法人税等の支払98百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は12百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出12百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果獲得した資金は2百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増減額104百万円による収入があったものの、配当金の支払による支出98百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① 概要

当第1四半期連結累計期間において営業活動を強力に推進し複数の新規案件を受託しましたが、当該期間中における貢献度が低かったため、大型案件の開発中止に伴う受託契約の終了による収益の低下を補完することができず、当第2四半期連結累計期間における売上高が当初の予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面につきましても、上記の開発中止に伴いモニターの稼働率が低下したこと及び受託計画に従い人員を採用したことにより、人件費等は計画通り発生したことなどから、営業利益および経常利益が当初の予想を下回

る見込みとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益の全てが当初の予想を下回る見込となりましたので、業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成22年7月30日）公表の「第2四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績につきましては、売上高2,885百万円（前期比20.0%増）、営業利益588百万円（前期比19.2%増）、経常利益582百万円（前期比19.5%増）、当期純利益343百万円（前期比19.7%増）の予想に変更ございません。

② 受注残高の推移

弊社の受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成22年3月期末の受注残高に比べ平成22年7月30日時点の受注残高は24.7%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し、受注残高の金額が売上高として計上されたこと及び受託案件の新規契約があったことによります。

当初の計画に従い、当第1四半期連結累計期間における人員の採用と教育は順調に進んでおり、新規クライアントを含め大手製薬会社を中心とする受託業務の拡大を図り、成長性と安定性を確保してまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成22年 3月期末 (A)	平成23年3月期		増減率(%) (B-A)/A
		第1四半期末	平成22年7月 30日時点(B)	
受注残高	2,276	2,658	2,838	24.7
内訳	大塚製薬	806	1,553	92.5
	ヤンセン ファーマ	490	451	△8.0
	エーザイ	589	324	△44.9
	その他	389	508	30.7

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	469,676	530,113
売掛金	409,235	394,184
有価証券	100,710	100,687
仕掛品	—	623
前払費用	36,195	19,728
繰延税金資産	14,473	31,746
立替金	31,984	30,475
その他	210	109
流動資産合計	1,062,486	1,107,669
固定資産		
有形固定資産	66,803	56,847
無形固定資産	1,945	2,221
投資その他の資産		
差入保証金	230,197	230,436
その他	10,276	9,761
投資その他の資産合計	240,474	240,198
固定資産合計	309,223	299,266
資産合計	1,371,709	1,406,935
負債の部		
流動負債		
短期借入金	104,000	—
未払金	63,724	57,560
未払費用	36,506	32,962
未払法人税等	18,296	105,374
未払消費税等	23,732	31,981
預り金	52,391	29,461
賞与引当金	30,287	53,849
リース債務	13,109	13,148
その他	37,611	303
流動負債合計	379,660	324,640
固定負債		
リース債務	16,789	15,815
退職給付引当金	15,125	12,692
固定負債合計	31,914	28,508
負債合計	411,575	353,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	687,055	779,144
自己株式	△9,839	△9,839
株主資本合計	964,260	1,056,348
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△4,125	△2,562
評価・換算差額等合計	△4,125	△2,562
純資産合計	960,134	1,053,786
負債純資産合計	1,371,709	1,406,935

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	689,622	642,971
売上原価	346,110	409,355
売上総利益	343,512	233,616
販売費及び一般管理費	132,650	157,552
営業利益	210,862	76,063
営業外収益		
受取利息	100	42
為替差益	—	165
その他	—	5
営業外収益合計	100	214
営業外費用		
支払利息	450	367
営業外費用合計	450	367
経常利益	210,512	75,909
税金等調整前四半期純利益	210,512	75,909
法人税、住民税及び事業税	77,507	15,911
法人税等調整額	9,403	16,292
法人税等合計	86,910	32,203
少数株主損益調整前四半期純利益	—	43,706
四半期純利益	123,602	43,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	210,512	75,909
減価償却費	5,177	6,666
長期前払費用償却額	401	1,260
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,322	△23,561
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,597	2,432
受取利息及び受取配当金	△100	△42
支払利息	450	367
為替差損益(△は益)	—	△165
売上債権の増減額(△は増加)	△37,601	△15,050
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,256	△8,248
立替金の増減額(△は増加)	△5,546	△1,508
前払費用の増減額(△は増加)	△9,144	△16,403
未払金の増減額(△は減少)	8,322	6,164
預り金の増減額(△は減少)	27,007	22,930
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	623
その他	868	△1,267
小計	178,365	50,106
利息及び配当金の受取額	101	42
利息の支払額	△450	△432
法人税等の支払額	△113,311	△98,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,705	△48,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,277	△12,068
長期前払費用の取得による支出	△500	△359
差入保証金の差入による支出	△41,801	△314
差入保証金の回収による収入	—	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,578	△12,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	125,000	104,000
配当金の支払額	△126,160	△98,486
リース債務の返済による支出	△3,149	△3,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,310	2,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△439	△1,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,377	△60,413
現金及び現金同等物の期首残高	552,777	630,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	561,154	570,387

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。